

仕事のやりがい

ごみの処分に困っていたお客様が、笑顔になり「頼んで良かった」と言っていたときに、やりがいを感じます。

この仕事を始めたのは

小学生の頃、長い休みの時などに、一般廃棄物の処理業をしていた父の手伝いをしていました。そのときに、この仕事をしたいと思いました。

働くためのアドバイス

チャレンジすること、あきらめず努力することが大切です。そして、自分を支えてくれる周りの人への感謝をいつも忘れずに！ 今を楽しく！



一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬、産業廃棄物処分業

株式会社環境ロジテック

みずい たいき 水井 大揮 さん

下関市出身

仕事図鑑



このページは、小・中学生、高校生を対象に市内で働く人・職業を紹介しています。先輩たちのメッセージを参考に、未来の自分を探してみませんか。

体力仕事もさわやかに

水井さんは家庭や企業、工事現場などから出たごみを回収しています。会社には、木くずやプラスチックをリサイクルするための処理施設もあります。

近頃増えてきた仕事ですが、家具などの家財処分です。空き家や売りたい方などから依頼を受け、ごみの種類ごとに、スタックと協力しながら、車へ積み込んでいきます。

空き家の草刈りもする水井さん。さわやかに手際よく作業する姿は職人そのもので、楽しそうです。

感謝が良い循環に

「地域や企業の皆さまや、スタッフのおかげでこの会社があります」という水井さんは、代表取締役という役に就いています。

天候に関係なく現場で作業するスタッフに感謝し、夏の暑さを和らげるため、クーラーを導入するなど、少しでも心地よく働けるように水井さんは気を配っています。それが、仕事のチームワークの良さや、依頼主の喜びにつながり、良い循環になっているのかもしれない。



荷物を降ろしやすいように考えながら積み込んでいます。



地域の工務店に依頼して建てた中間処理施設。珍しい木造建築です。



仕事のイメージを良くするため、車体デザインと制服を新しくしました！

いつもピカピカ★
スタイリッシュ！